|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第１編　第１章　人間の心のあり方**２節　人間の心の働き**私たちはどのようにものごとを認識し，感じ，個性を発揮しながら発達していくのだろうか**１ 認知**（教科書 p.13～15） |  |

●**認知活動と知覚〔p.13〕**

認知活動とは

・私たちは，見る，聞く，覚える，考えるといった複雑な〔　　　　　　〕活動をおこなっている

・認知とは私たちの思考や行動をささえる心の働き

知覚とは

・〔　　　　　　〕とは，視覚，聴覚，嗅覚，触覚などで，身のまわりの情報を把握すること

・目や耳などの感覚器官でとらえた情報は，脳を通して知覚される

・私たちが知覚する世界は，認知活動の中で自動的に解釈されたもので，必ずしも実際の物理的な世界と同じではない　例）錯視

●**学習の法則〔p.13～14〕**

反射と学習

・私たちは知覚から多くを〔　　　　　　〕する

・〔　　　　　　　　　　　〕

…レモンを見て唾液が出るように，生まれながらにもつ反射が別の刺激でも生じるように学習される

・〔　　　　　　　　　　　　　〕

…行動のあとに報酬や罰が与えられることで，行動が生じる度合いが増減する学習

●**記憶のプロセス〔p.14〕**

〔　　　　　　〕のプロセス

・〔　　　　　　　　〕…受けとった情報が瞬間的にたくわえられる

・〔　　　　　　　　〕…たくわえられた記憶のうち，注意を向けられた一部の情報が短期記憶へ送られる

・〔　　　　　　　　〕…短期記憶にたくわえられた内容の一部が長期記憶に送られる。

**サンプル**

容量は無限

〔　　　　　　　　　　〕…ことばやイメージをともなわない記憶

〔　　　　　　　　　〕　…ことばやイメージをともなう記憶

→意味記憶とエピソード記憶にわけられる

●**推論と問題解決〔p.14～15〕**

推論

・知覚によって得られる情報と記憶にたくわえられた情報とにもとづいて試みる
〔　　　　　　〕は，問題解決のための重要な認知活動である

・〔　　　　　　　　　〕…いくつかの前提から論理的に結論を導く

・〔　　　　　　　　　〕…いくつかの事例から経験的に結論を導く

〔　　　　　　　　　　　　　〕

・暗黙のうちに用いる直観的な判断

・判断までの時間がないときに有用だが，偏った判断結果にいたることもある
＝〔　　　　　　　　〕

・〔　　　　　　　　　　〕　…先入観や個人的な経験によって，合理的でない判断をする

・〔　　　　　　　　　　　〕…出来事が起きたあとで「最初からこうなると思った」と考える

さまざまなヒューリスティック

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

…思い浮かびやすい情報にもとづいて判断する

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

…典型的な情報を過大視して判断する

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

…事前の情報を基準としてそこから調整して判断する

〔　　　　　　　　　　　　〕

・不確実な状況で人間がどのような判断を下すのかを示す意思決定モデル

・意思決定は損失を回避する方向に向かう

・心理学者・行動経済学者〔　　　　　　　　　〕が提唱

（2002年にノーベル経済学賞受賞）

●**共生のための意思決定〔p.15〕**

・意思決定は自分自身のことばかりでなく，家庭，学校，友人関係の中でもおこなわれる

→自分自身の利益と損失にもとづくだけではなく，皆が納得する決定を求められる

　　　年　　　組　　　番　名前

memo